



2022 年度 SMC サテライトオンライン講座 実施（募集）要項

主催

一般社団法人大阪府サッカー協会／公益財団法人日本サッカー協会

受講対象

スポーツ組織の運営に携わる方 / その他、スポーツ選手や指導者など
※ サッカー関係者以外でも受講できます。昨年までも受講していただいています。

受講条件

受講にあたり「1.～4.」の環境が整っているか必ずご確認の上、お申し込みください。

1. 機材

以下①②いずれかの機材環境が用意できること

- ①パソコン（インターネット接続、web カメラ・マイク付）とスマートフォン（カメラ付）
 - ②タブレット（インターネット接続、web カメラ・マイク付）とスマートフォン（カメラ付）
- ※ヘッドフォンまたはイヤホンマイクがあるとなお良い

2. 環境

以下①～④の全ての受講環境が用意できること

- ①Zoom の接続確認が完了していること（Zoom の接続テストサイト <https://zoom.us/test>）
- ②Zoom 等のウェブ会議システムで映像と音声を流しながら安定的に通信できる環境
- ③PC またはタブレットを置いて、A3 のワークシートを広げて作業ができるデスク環境
- ④極力まわりが静かで集中できる環境

3. IT リテラシー

以下①～③の全てを操作できるスキルがあること

- ①PC・タブレット・スマホでのメール送受信ができる
 - ②ブラウザ（Chrome、IE、Safari など）を使った検索ができる
 - ③SNS（Facebook、インスタグラム、LINE、twitter など）での投稿ができる
- ※講座内で実際にお持ちの SNS アカウントより投稿をお願いすることはございません

4. 準備物

受講者自身でご準備ください

- カラーサインペン（3 色程度）/その他筆記用具
- ※A3/A4 サイズのワークシート、および A3/A4 用紙（白紙）は事務局よりお送りします。

※オンラインに伴う FAQ は、JFA HP (<https://www.jfa.jp/smc/satellite.html>) でもご確認いただけます。

受講料

25,000 円

□キャンセル（受講料返金）ポリシー

お申込み後にやむを得ない理由によりキャンセルされる場合は、（一社）大阪府サッカー協会 SMC サテライト事務局までご連絡ください。なお、受講料振り込み後の受講者都合によるキャンセルについては、受講料全額をキャンセル料として申し受けます。また、オンライン講座を受講するためのインターネット接続やシステム等の設備は受講者自身の費用と責任で調達し、その不具合または準備不足による受講への支障に関しては、一切の責任を負わないものとします。

身に付く力

自立した魅力あるスポーツ組織づくりに必要な明確なビジョンを描く力
スポーツ組織の運営に必要なマネジメントの基本的な力

応募方法

2022 年 6 月 10 日（金）までに、大阪府サッカー協会のホームページに掲載の SMC サテライト募集サイト内の申込フォームよりお申し込みください。

募集人数 15名程度 ※受講申込が多数あった場合は、応募書類をもって審査致します。

講座 計6つのセッション（各3時間） / Instructor は JFA から派遣

Session	Title	日時	場所
	開講式	6月18日（土） 9:45～10:00	オンライン開催
セッション1	ビジョン	6月18日（土） 10:00～13:00	オンライン開催
セッション2	環境分析	6月18日（土） 14:00～17:00	オンライン開催
セッション3	コミュニティデザイン	6月19日（日） 10:00～13:00	オンライン開催
セッション4	SWOT	6月19日（日） 14:00～17:00	オンライン開催
セッション5	行動計画	6月25日（土） 10:00～13:00	オンライン開催
セッション6	目標管理	6月25日（土） 14:00～17:00	オンライン開催
	閉講式	6月25日（土） 17:00～17:15	オンライン開催

修了要件 全てのセッションを受講及び各セッションの Web アンケートへの回答をもって修了とする。
※ Web アンケートにはスマートフォン、PC等の機器より回答をいただくこととなります。

修了資格 修了要件を満たした場合、修了資格「JFA スポーツマネジャー資格 Grade2」を付与し、JFA にて登録・管理します。

◆ 修了要件と補講について

***セッション1・2は受講必須です。**

必ず申し込んだ都道府県で受講する必要があり、補講での受講はできません（今回の場合は、大阪府でセッション1・2を必ず受講していただく必要があります）。

*セッション3～6で欠席された場合は、今後、他都道府県で開催されるサテライト講座の対象セッションで補講として受講してください。

※補講はどの都道府県で受講していただいても構いません。

※ご不明な点がございましたら SMC 事務局（jfa_smc@jfa.or.jp）にご相談ください。

*補講の際の受講料は、初めて受講した都道府県にて6セッション分全額を頂きますので不要とします。

※受講料の返金はいたしません、補講は無料となります。

その他 講座当日は運営の都合により事務局との連絡が取れません。遅刻、欠席等がある場合は、可能な限り前日までにご連絡いただけますようお願いいたします。

<本件に関するお問合せ先>

一般社団法人大阪府サッカー協会（担当者名）坂東和浩

TEL：06-6441-5881 FAX：06-6441-5882

E-mail：ofa-smc@osaka-fa.or.jp

◆ 講座概要

Session 1 ビジョン



どのような組織にとっても、明確な将来のビジョンを持つことは非常に重要なことです。将来のビジョンがあるからこそ、現状の改善があります。そして、将来のビジョンに向かっていくプロセスこそ、マネジメントそのものです。自分たちスポーツ組織が、将来、どのようにありたいのか。この講座では、そういったことを、皆さん一人ひとりに考えて頂きます。自身で明確な将来のビジョンを持つことが、自立したマネジャーとしての第一歩です。将来のビジョンがあるからこそ、今後、なすべきことが見えてきます。そして、ビジョンを実現するために、今足りないものは、自身で創り上げていくのです。それが、自立したマネジャーの仕事です。

Session 2 環境分析



スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。JFAにはこのような思いがあり、皆様にこのSMCでマネジメントを学んで頂きたいと考えています。この講座では、自身の思いとは別に、今日のスポーツをとりまく社会を様々な観点から考えて頂きます。今、自分たちをとりまく社会が必要としていること、そうしたことを的確に捉えることで、組織のマネジャーとして、今後なすべきことがきっと見えてきます。人々が幸せになれる環境を作り上げたい。ですから私たちは人々を知る必要があります。こうして外部環境を分析し、改めて、先に描いたビジョンを再考えます。

Session 3 コミュニティデザイン



地域に根差したクラブづくり—— 全ての指導者、マネジャーが追い求めるスポーツクラブの理想像。人々の結びつきを創造するということは、他者との関係が希薄化している現代において、クラブに求められる大きな要素の一つと言えるでしょう。しかしながら、一言に「人と人をつなぐ」と言っても、もはや「立派なハコモノがある」だけでは人は集まりません。地域の人々のつながりを創造するために必要なものは何か。本講座では、地域のクラブやスポーツ団体が活躍されている皆さまとともに、「人と人がつながる仕組みづくり」について、チームビルディングのプロセス等を通じて、コミュニティを「デザインする」ことについて、考えたいと思います。

Session 4 SWOT



この講座では、SWOTという枠組みを通じて、自身（自分の組織）を分析します。SWOTのSは自身にとっての「強み」を示し、Wは「弱み」、Oは「機会」、Tは「脅威」を表します。この4つの観点から分析を行うことで、自分自身のおかれた環境が見えてきます。それにより、きっと先に描いた将来のビジョンも違うものになるはずですが。将来のビジョンを描く際、もちろん自分の思いも重要ですが、自分の客観的な分析も不可欠です。ビジョンは仲間と共に具現して行きたいものです。独り善がりなビジョンでは、きっと具現は難しいでしょう。客観的な自社分析に基づく、その延長としてのビジョンであることが望まれるわけです。

Session 5 行動計画



これまでの講座で、はじめに描いたビジョンを様々な観点から見直してきました。この講座では、先に描いた将来のビジョンを具現するプロセスをより鮮明な形にして頂くために、今の自分が「やりたいこと（Will）」、「できること（Can）」、「求められていること（Need）」という観点から考えて頂きます。私たちは限られた資源の中で生きています。例えば、サッカーをしたければ仲間やボールやグラウンドが必要ですが、それらは常に無限にあるものではありません。自身に与えられた資源を有効に活用し、さらには自身が持つ資源を、自らの行動により増やしていくことが求められるのです。

Session 6 目標管理



この講座では、これまで描いてきたビジョンの具現に向けて、皆さんがそこに到る道、アクションプランを考えます。漠然と描いた将来のビジョンも、このように年次ごとのアクションプランに落とし込むことで、より鮮明になります。今からやらなくてはならないこと、数年後には、こうなっていて、その時にこうするなど。ここで描いたアクションプランは、マネジャーとしての有効な目標管理ツールになります。同時にそれは、将来に向けた道（プロセス）のイメージであり、時間軸を伴ったより鮮明なビジョンそのものです。ビジョンの具現、後はあなた自身の取り組み次第です。自立したマネジャーとして、組織を率い、掲げたビジョンを具現して下さい。